



「未来創造都市かのや」 の実現を目指して



鹿屋市長
郷原 拓男

所信表明

2月18日に開催された令和8年3月鹿屋市議会定例会本会議で、郷原拓男鹿屋市長が所信表明を行い、今後の4年間の市政運営についての基本的な考え方を述べましたので、紹介します。

令和8年3月鹿屋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御支援を賜りたいと存じます。

私は鹿屋で生まれ、豊かな風土と人々の温かさに育てられてまいりました。鹿児島県議会議員としての10年半、常に現場を歩き、市民の皆様の切実な声と、このまちが持つ無限の可能性に触れてきました。

この度、市民の皆様の温かい御支援を賜り、鹿屋市長の重責を担わせていただくことに当たり、身の引き締まる思いとともに、このまちを更なる発展へと導く、強い決意を抱いております。歴史と文化が息づき、豊かな自然に恵まれたこの鹿屋市が、さらに輝きを増すよう、全身全霊で市政運営にあたる覚悟です。

「大隅は一つ」という大局的な視点をもって、大隅地域全体の成長につなげてまいります。

第4に、EBPMなどデータに基づく政策立案の推進です。客観的な根拠と分析に基づき、政策の立案から効果検証までを一貫して行うことで、限られた資源を最大限に生かし、より効果的・効率的な施策を展開してまいります。

第5に、「ないものねだり」ではなく「あるもの探し」を通じて、「オールかのや」で取り組むことです。市民の皆様との対話を重ねながら、先人が築き上げてきた、このまちの宝を改めて掘り起こし、磨き上げる「あるもの探し」を通じて、全ての市民が互いに支え合い、未来への確かな希望を持てるまちを構築してまいります。このため「対話に始まり、届けるまでが政策である」という意識のもと、本市の取組状況を市民の皆様に向け、その意見を伺い、スピード感をもって、施策に反映するよう努めてまいります。

これら5つの基本姿勢に基づき、私が公約に掲げた「未来創造都市かのや」の実現を目指し、市政運営に取り組んでまいります。

市政運営の基本姿勢

私は5つの基本姿勢をもって市政運営に取り組んでまいります。

5つの基本姿勢

- 1 国や県とのネットワークを最大限に活用し、連携を強化
- 2 民間や地域との連携
- 3 大隅地域のリーディングシティとしての役割を果たす
- 4 EBPMなどデータに基づく政策立案の推進
- 5 「ないものねだり」ではなく「あるもの探し」を通じて、「オールかのや」で取り組む

第1に、国や県とのネットワークを最大限に活用し、連携を強化することです。市政・県政・国政を一本の線でつなぎ、「予算を獲得する力」と「政策を実現する力」を高めてまいります。

第2に、民間や地域との連携です。民間事業者の知恵や経験を市政運営に生かし、まちを「経営する」視点で、民間の力と地域の持つ特色を最大限に生かす市政を実現してまいります。

第3に、大隅地域のリーディングシティとしての役割を果たすことです。近隣自治体との連携・相互交流を通じて、施策の推進を図

市政運営の基本方針

私が掲げる「未来創造都市かのや」は、第3次総合計画の「ひとが元気 まちが元気 みんなで創る健康都市かのや」の理念や方向性を踏まえつつ、私なりの想いを込めたものであり、その実現のため、5つの基本方針を掲げ、市政を運営してまいります。

5つの基本方針

- 1 産業振興で稼げるまち
- 2 交流で賑わうまち
- 3 こども・若者の未来を創るまち
- 4 安心して暮らし続けられるまち
- 5 福祉と共生・協働が充実したまち

1つ目の「産業振興で稼げるまち」については、農林水産業の更なる生産性向上や魅力的な雇用の場の創出、地元企業の成長支援により本市の魅力を最大限に引き出し、鹿屋のブランド力を向上させることで、地域経済の活性化と市民所得の向上を図ってまいります。